

●観光開発について

問 重点道の駅と観光開発

答 佐久市との域内連携を深めたい



岩崎 正春 議員

議員 下仁田町と同時に重点道の駅となった「佐久みなみ」や軽井沢町との連携など域内連携が大事ではないか。

産業観光課長 佐久市農業祭への出店や下仁田町農業祭への招待、また山荘あらふねつつじ祭りとコスモス祭りの参加予定に加えて、4月19日大相撲佐久場所への協力要請などを機会に交流連携を深めたい。

議員 一般社団法人下仁田観光協会がDMO仮登録となった意義は。

●創業起業支援は

問 創業起業支援の中身は

答 相談件数3件/年予定

議員 まち・ひと・しごと総合戦略では企業誘致を年3件とあるが、どのような企業誘致を考えているか。

地域創生課長 戦略中では企業との相談件数を3件としている。小規模企業には空き家活用などと、雇用吸収力の

大きな地域密着型企业を立ち上げたい。また国のプロジェクト10000は、自治体が初期投資を行った場合、国が特別交付税の対象とする支援もある。



いってんべー祭会場にて

●職員の採用について

問 新年度の採用は何名か

答 28年度は職員4名、保健士1名

議員 町内より町外の応募者が多いらしいが、28年度応募者の内容は。

総務課長 9名応募があり、Uターンを含めて町内3名。

議員 2040年の人口ビジョンでは、町の人口予想が4500人を考えると5人必要なのか。

総務課長 下仁田町定員管理計画は平成28年から32年を作成している中で現状の116名となっている。

議員 地方創生や観光開発などで人手が必要なところに特化した職員を臨時的に採用してはどうか。また一人増やし、出を防ぐのは大変。法の保護もあるが、職員の皆様には深く思慮していただき、ぜひ町

内に住めるようなお願いをしていただけないか。

町長 観光に対する思い、職員に対する思い、重々伺って、今後良い方向へ検討していく。職員間でも、地方創生の原点はまずは人口減少の問題と話は大部分出ている。町民からご意見を拝聴している。肝に銘じてそれらを生かしていきたい。



ラッピングトラックの荷台はステージにも使える